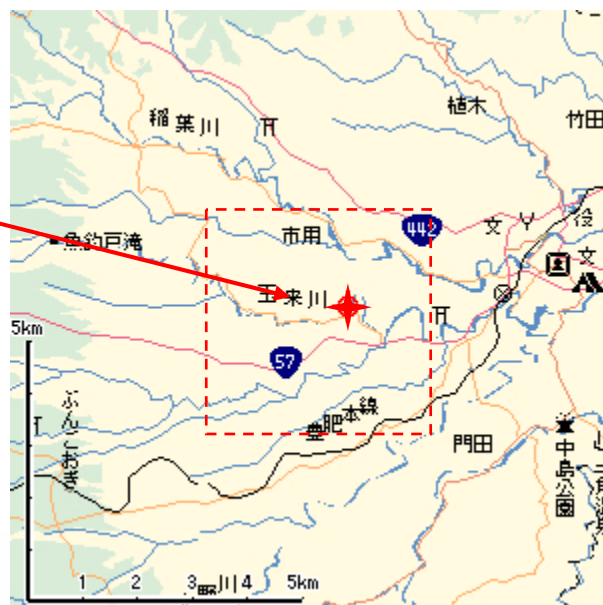


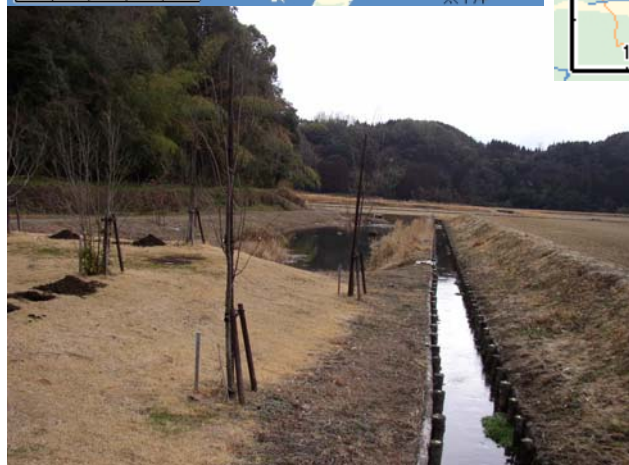
## 46 大分県 竹田市

### 平田地区農業用水路

水源	導水方法	導水箇所	水環境上の問題
農業用水	既設水路	河川・水路 堀・池	—



※地図中の破線枠は次ページの地図範囲



#### 対象地域の概要

##### ・地区概要

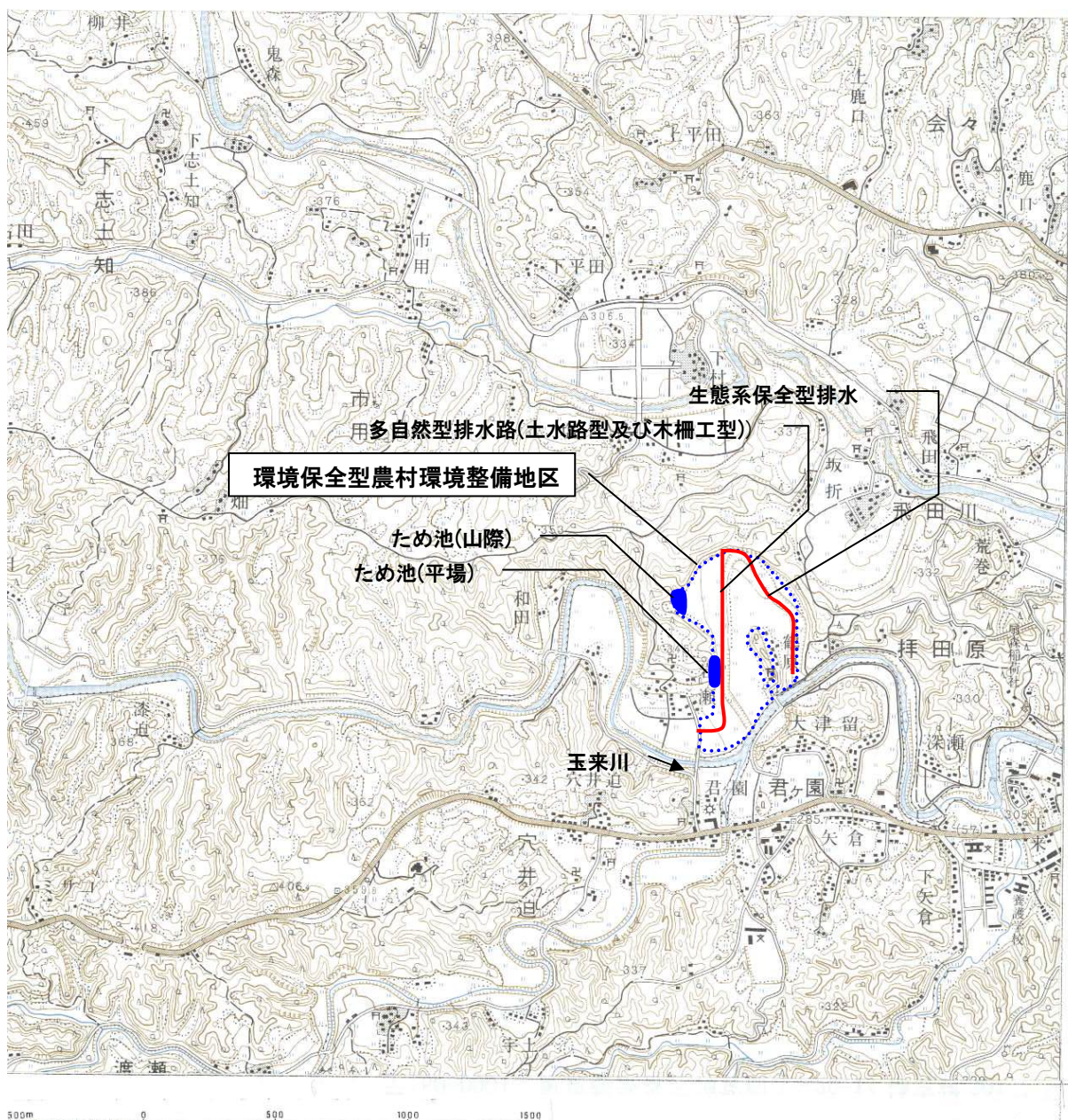
竹田市は大分県の南西部、九州のほぼ中央に位置し、阿蘇外輪山や久住山、祖母傾連山に囲まれた標高200～600mの丘陵地にあります。市街地は古くより旧岡藩の城下町として賑わい、これを取り巻く川沿いの平地は水田として、阿蘇久住の火山灰台地である丘陵部は畑地として農業が展開してきました。

本事業地区は竹田市の市街地より約3km西側に位置し、大野川水系稲葉川、玉来川沿いに展開する水田地帯です。市街地に近いため兼業農家が多く、水田の所有規模は零細なため、農地の利用集積や基盤整備が立ち遅れ、その労働生産性は低くなっています。

##### ・対象水域の概要

平成5年度の「環境基本法」制定、平成11年度の「食料・農業・農村基本法」、さらにこれらを踏まえた「土地改良法」の改正により、自然生態系をはじめとする環境との調和への配慮を重視した内容で、今後の農業農村整備事業を実施するところとなりました。

平成4年度から国は本事業を導入して全国30程度の地区を選定し、「生態系保全型の水田整備に係る技術の蓄積」と「技術の普及並びに取り組みの定着」さらに、「生態系保全施設の地域ぐるみの維持・増進活動の推進」といった課題を地区毎に地域住民参加の上、検討・実施・評価しました。



<p>概要 対象地域の</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水環境上の問題：水質の悪化・悪臭、生態系悪影響、親水性・景観</li> </ul> <p>この事例は、水環境が問題となって始められた事業ではなく、農業農村整備事業、生態系保全型水田整備推進事業（事業年度：平成 14～17 年度）として取り組まれたものです。</p>
<p>導水事業の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源 農業用水</li> <li>・事業の概要 本事業地区は、4 集落で構成される出入り作が行われているため、土地利用集積及び換地計画からも一体的に整備する必要がありました。なお、平成 7 年度より農免農道整備事業（平田地区）が着工されており、本事業とともに一体的に整備を行うものであります。 本事業により、農業生産基盤の整備を行い、農地の流動化を進め、中核的担い手農家の育成、規模の拡大をはかり生産性の高い農業を目指します。</li> </ul>

概要 導水事業の概要	<p>平田地区は、玉来川の洪水対策でショートカットされて拡張した場所を水田に変えたところで、残っている河道を農業用水の排水路として利用し、水田地帯の中央に（幹線）水田からの水を受け、排水路に流します。その幹線と排水路を多自然型水路として造り換え、また、ほ場整備の残地を有効利用して2つのピオトープため池も造っています。</p>
NPOとの協働	<p><b>協働の背景</b></p> <p>国の生態系保全型水田整備事業の一つとして、「生態系保全型の水田整備に係る技術の蓄積」と「技術の普及並びに取組みの定着」さらに、「生態系保全施設の地域ぐるみの維持・推進活動の推進」といった課題を地区ごとに地域住民参加の上、以下のような体制、内容により検討・実施・評価し、その成果をもって国、県の技術蓄積、向上を図るものとして取り組まれています。専門家の参画を得た第三者機関（県 EAG）を設置し、この指導・助言の下に各事業を行います。</p> <p>生態系保全に係る調査、設計を行い、生態系保全広報を採用した水田整備をモデル的に実践します。</p> <p><b>役割分担</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業主体（竹田直入地方振興局耕地課）（H18年4月1日合併後 大分県豊肥振興局）        &lt;役割&gt;事業の実施・調整</li> <li>・アドバイザー（EAG）5名        &lt;役割&gt;（評価・検討・手法確立）        自然生態系保全対策に関わる助言        実施地区におけるモニタリング計画、実施、結果の分析・検討        調査結果と分析・検討結果を上位委員会の報告</li> <li>・地域（岩瀬鶴原地区地域づくり推進協議会）19名        構成メンバー：ほ場整備換地委員・担い手農家・自治会長        地域おこしグループ代表・社会福祉協議会</li> </ul> <p><b>今後の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がH18年3月で終わり、現在は事業主体によって今後の進め方（住民の関わり方、維持管理等）を打ち合わせ中です。</li> </ul>
関連事業/その他関連情報	<p><b>【事業の経過】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年：助言者として専門家の参画を求め、第三者機関（県 EAG）設置        「岩瀬鶴原地区地域づくり推進協議会」発足        ＊「岩瀬鶴原地区地域づくり推進協議会」：現況環境調査・アンケート調査、基本構想案作成、県・市・地元小学校児童と「植物及び水生生物の引越し作業」実施。ほ場整備事業工事実施。</li> <li>・平成15年：アンケート分析、基本構想作成、モニタリング調査、ほ場整備事業工事実施</li> <li>・平成16年：地域用水環境整備事業工事実施、モニタリング調査</li> <li>・平成17年：地域用水環境整備事業工事実施、モニタリング調査</li> </ul>
ヒアリング先 資料提供及び	<p><b>【ヒアリング先】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧大分県竹田地方整備局耕地課（現 大分県豊肥振興局農林基盤部）</li> </ul> <p><b>【参考資料】</b></p> <p>「県営経営体育成基盤整備事業『平田地区計画概要』」    大分県竹田直入振興局 耕地課（現 大分県豊肥振興局農林基盤部）    環境保全型農業農村整備事業の取り組み</p>



排水路



排水路の終点（玉来川に注ぐ）



灌漑用水路（水源）



灌漑用水路から水を注ぎ、ため池を作っている



幹線の途中にため池をつくっている



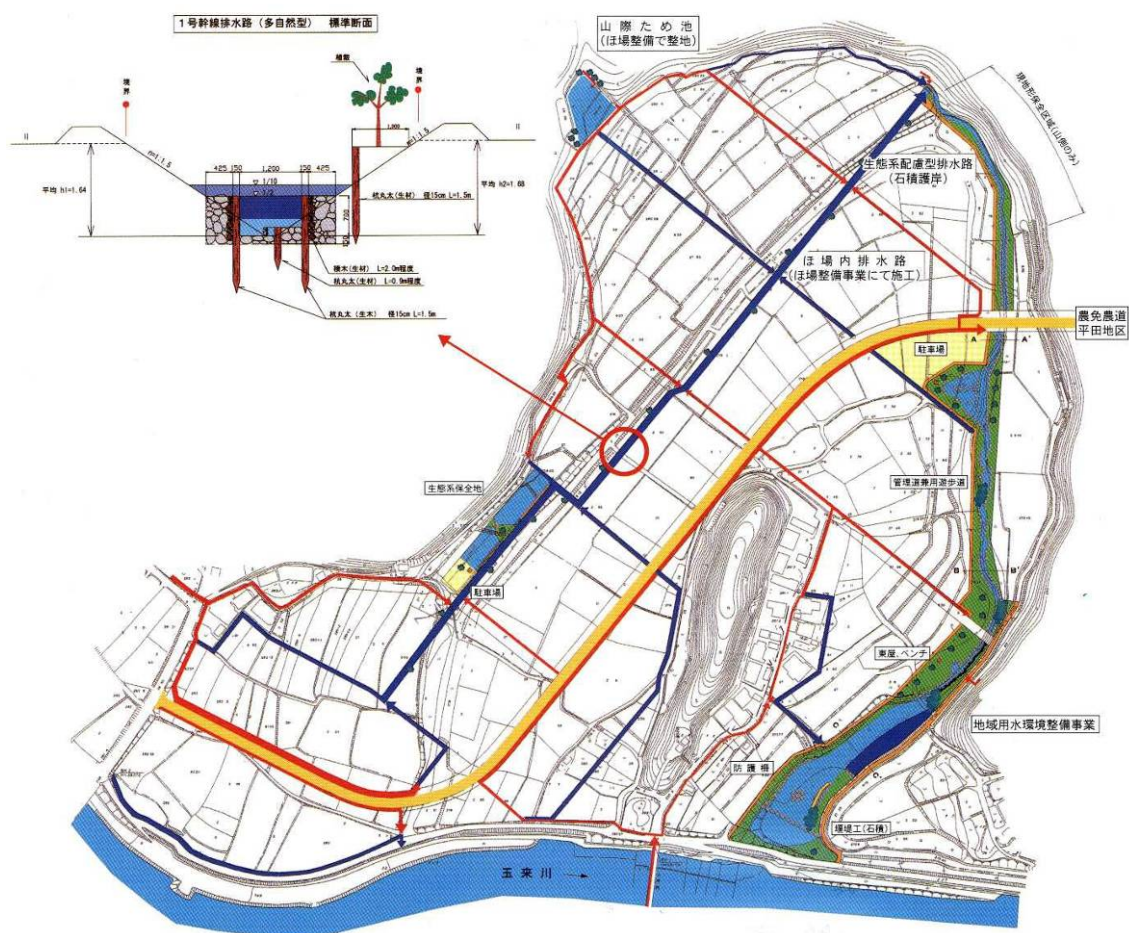
排水路（旧玉来川の一部）



幹線（水田地帯の中央）各水田より流入



幹線の途中にため池をつくっている



資料：「県営経営体育成基盤整備事業『平田地区計画概要』 → 取水 → 排水